

## 緊急アピールに盛り込むべき個別課題(案)

2010年4月1日

人を育む基盤の整備WG主幹事(消費者団体・事業者団体)

※本資料は、WG主幹事のアイディアに基づいて作成しているものであり、他の主体との調整は済んでおりません。

## モデル・イベントの開催

持続可能な社会を支える人材育成のための新しい消費者教育実現に向けて

背景・意義

国や地方自治体、消費者団体、事業者団体あるいはNPO・NGOなど多様な主体が消費者教育に関わっているが、他者や社会に配慮し、責任ある行動や選択を行える市民を育成するという視点での教育については課題が多く、現在実施されている消費者教育を検証し、広範な主体の協働による課題解決の取組みが必要である。

そこで、まず、次のようなモデル・イベントを開催し、各主体が課題を共有し、ともに課題を解決する取組みにつなげていく場とする。

## モデル・イベントの開催内容

2011年5月の消費者月間に合わせて、他者や社会に配慮し、責任ある行動や選択を行える市民を育成するという視点での教育・啓発活動を協働で推進する意義をアピールするためのモデル・イベントを政府、消費者団体、事業者団体、労働団体、NPO/NGO関係者の連携・協力の下に全国数か所で開催する(開催場所未定)。なお、都道府県とも連携し、各地域でのイベントにも展開できるものとする。

モデル・イベントでは、初等・中等・高等課程における消費者教育に関わる教材、企業、業界団体、消費者団体、NPO/NGOが作成した副教材(消費者教育のみならず、環境教育、金融教育、食育や暮らしに関する問題の理解・提言活動等に関するものなどを含む)などの展示、それぞれの主体の個別ないし協働の取組み事例の紹介、関係者によるシンポジウム、相談コーナーの開設などを企画する。

企画にあたっては、WGの関係者が開催地の関係者を交えて具体案を詰める。

<モデル・イベントの事前もしくは事後の協働の取組み例>

- ・消費者教育の事例検証
- ・人材育成プログラムの作成
- ・課題の抽出と解決策の提言・実践

以上